

2019 年度

2019. 04→2020. 03

小金井市環境市民会議
活動報告

<小金井市環境市民会議 2019 年度活動報告>

1. 今年度活動の報告

- ・第二次環境基本計画に示されている「緑・水・生きもの・人・・・私たちが心豊かに暮らすまち小金井」を実現するために、環境市民会議と市、NPO 環境ネットワークとの協働や連携を進めるために、環境三者協議を行ってきた。
- ・環境基本計画の改定についてコンサルのヒヤリングに協力し、市民会議としてもプロジェクトを立ち上げて評価のまとめを行った。
- ・ホームページのリニューアル、ニュースレター (NO. 1 - 2019 年秋号) の発行を行い、活動を発信した。

- ・2019 年 5 月 25 日、クリーン野川作戦に協力
- ・2019 年 7 月 23 日、市長に意見書提出
「雨水地下浸透の推進に係る市の取組みに対する意見書」
- ・2019 年 8 月 14 日の打ち水イベント「打ち水日和 in 小金井」に協力
8 月 9 日、さくらなみ学童保育所児童 (3 年生約 50 名) に竹の水鉄砲づくりを行う
- ・2019 年 8 月 17~26 日開催のわんぱく夏まつりに、協力団体として参加
- ・2019 年 10 月 26 日、消費生活展に参加
パネル展示、雨水貯留タンクの相談窓口、雨つぶごろごろすごろく
- ・2019 年 11 月 23・24、環境フォーラムに参加：テーマ「環境と防災」
フェスティバルコート会場にソーラーパネルの展示、環境楽習館会場のパネル展示
- ・2019 年 11 月 30 日、落ち葉回収作戦に参加
- ・2020 年 3 月 5 日、市長に意見書提出「陶磁器食器の行政回収に関する要望書」

2. 部会活動とその他の活動

各部会は、それぞれのテーマに沿って活動を進めた。

また、4 つのプロジェクトが立ち上がった。

- (1) 第 2 次環境基本計画評価プロジェクト (藤崎リーダ)
- (2) 新庁舎・新福社会館「意見」フォロープロジェクト (小山リーダ)
- (3) 滄浪泉園と環境楽習館をつなぐプロジェクト (藤崎リーダ)
- (4) 環境家計簿導入プロジェクト (林リーダ)

<部会活動報告>

■地下水測定部会

- ・月に 1 度、国分寺崖線 4 ヶ所の湧水量を測定 (気象状況などにより欠測あり)
- ・2019 年 2~4 月にかけて 7 回、部会を開催：井戸水位測定 10 年のまとめについて
- ・「市内の井戸水位の調査についての報告」をホームページに掲載
- ・10 月 8 日、環境基本計画改定に向けたヒヤリング

■緑調査部会

2019・4・23（火）緑調査：平代坂、どんぐりの森公共緑地前集合、貫井南町3丁目、本町6丁目辺りを調査

参加者：一般公募 5人、部員 4人

2019・5・13（月）部会

4月23日に行われた緑調査の反省。

参加者の意見、主催者は小金井市かと思ったとのこと。

調査の基準が分からないなど。

2019・10・31（木）部会

「こがねい環境フォーラム」のポスター作成について。

写真の撮り方（個人情報に触れない範囲で）。

市民の緑に対する考え方を知る。

緑調査のみならず、調査のマニュアル化を考える。

緑調査部会として、公園の利用方法を考える。

2020年3月末を一区切りとする。

2019・11月23日（土）24日（日）

「こがねい環境フォーラム」にポスター展示。

- ・新しいゼンリンの住宅地図で全域緑調査（2回目）。
- ・「2005年の緑調査」を基に変化した地域を調査。
- ・グループではなく、個人で調査。
- ・街路樹も調査；第一小学校前のハンカチノキ（白いハンカチのような花が咲いていた）。
- ・調査をされていて感じたのは、市民の緑に対する考え方の変化。（大きな屋敷が区分され、数軒の家が建つが、家の周りには砂利が敷かれ、緑のスペースはほぼない。）
- ・個人住宅には緑は必要ない。せいぜい、プランターの花があれば良いと思う人が多くなったのか。
- ・2020年3月を一区切りと考えたが、諸事情から達成出来なかった。

■環境学習部会

環境学習部会は、「田んぼの時間」の活動および市内の小学校2校で支援を行いました。

田んぼの時間については、新規参加者に直前キャンセルが多く出たため、例年より少人数での活動となった。次年度から募集方法を検討したい。しかしながら、新規参加者の中にも日々の維持管理にも協力してくれる方もあり、体験としてだけではなく、植物や生物の日々の変化に関心の高い方々が多かった。

市内の学校へ学習支援については、本年度も学校田んぼに取り入れやすい品種「森のくまさん」の種籾および苗の提供を行った。

〈田んぼの時間〉

第1回 4月20日（土） オリエンテーション・春の野草観察

植物観察指導：池竹則夫さん

参加者：大人：25名 子ども：8名 計：33名

第2回 5月11日（土） 代かき

参加者：大人：15名 子ども：5名 計：20名

第3回 5月18日（土） 田植え

参加者：大人：22名 子ども：10名 計：32名

第4回 6月16日(日) 水生生物観察会
水生生物観察指導：平井正風さん
参加者：大人：17名 子ども：11名 計：28名

第5回 7月6日(土) 昆虫観察会
昆虫観察指導：高橋利行さん
参加者：大人：13名 子ども：7名 計：20名

第6回 9月21日(土) 稲刈り(コシヒカリ)
参加者：大人：18名 子ども：9名 計：27名

第7回 9月28日(土) 脱穀
参加者：大人：13名 子ども：4名 計：17名

第8回 11月9日(土) 収穫祭
参加者：大人：20名 子ども：10名 計：30名

第9回 12月17日(土) 正月飾り作り
参加者：大人15名 子ども：7名 計：22名

参加者のべ人数：229名

〈小学校の学習支援〉

〈小金井市立第一小学校 5年生〉
種もみ(森のくまさん)の提供
5月7日(火)2校時(5-3)、3校時(5-1)、4校時(5-2) --稲の種まき
6月4日(火)1校時(5-3)、2校時(5-2)、3校時(5-1・梅の実) --田植え
11月12日(火)2校時~4校時(5-3, 5-1, 5-2) --稲刈り
11月26日(火)1校時~3校時(5-2, 5-1, 5-3, 梅の実) --脱穀

〈小金井市立第四小学校 5年生〉
苗(森のくまさん)の育苗・提供
6月28日(金)1校時~2校時(5-1, 5-2, 5-3) --田植え
10月23日(水)1校時~3校時(5-1, 5-2, 5-3) --稲刈り
11月15日(金)1校時~3校時(5-2, 5-1, 5-3) --脱穀

支援対象者のべ人数：720名

■まちづくり部会

- ・市民会議所属団体である小金井地域協議会と連携して、2018年に実施した公共施設の石けん実態調査について、調査にかかわった市民との意見交換を行った。
- ・10月15日 ヒヤリングに向けて、部会を開催した。
- ・10月23日 環境基本計画改定に向けて、環境政策課と意見交換を行った。

■生活環境部会

〈年度当初の全体計画についての進捗〉

- *各部会との連携強化>未達成、
- 緑調査部会と部会への参加形式で1回実施のみ

*小金井市第3次環境基本計画及び地球温暖化対策地域推進計画の策定に向けて、既存計画の進捗評価と改善点提案づくり

○小金井市環境政策課のヒアリング参加時に部会内で2018年度より実施してきた雨水活用についてのワークグループの相談実施>新庁舎建設の基本設計案における関連する環境計画内容へのパブリックコメントを部会単位でなく、個人レベルで実施することに決定。(検討するための資料は部会から配布)

*市内各エリア別の地域コミュニティと連携した環境推進活動の開始>環境政策課のごみ対策での推進が遅れている「廃油回収」を課題に実施。

- 1)中町三丁目エリア>中町親愛会・小金井第一小学校の土曜生ごみ収集でのヒアリング
- 2)貫井北町エリア>東京学芸大学内での環境機構活動を継承する「学芸の森人集ラボ」設置参加と周辺町内会との連携交渉を開始。2020年度具体化予定。

〈ワーキンググループ活動報告〉

1)動植物との共生：

*市内の野鳥観察会や関連団体との連携による野鳥生態把握(被害の多いカラス、鳩、オナガを主に、各種野鳥生態を把握)>野川公園の野鳥観察会参加>観察会参加：1月12日、カラス対策調査と討議：4月調査及びWG会議

*野鳥学習(学校、生涯学習、保育園向け)の推進>日本野鳥の会の「鳴き声ノート」を利用した鳴き声勉強会試験実施(栗山公園・栗山公園を良く利用し、希望する保育士などと実施)

5月末

*地域猫、ハクビシンなどの野生化した動物の生態把握と対策づくり>小金井市での地域猫の活動団体との連携は無く、希望する市民と「武蔵野市の地域猫の会」のイベント協力とハクビシン・たぬきは、たぬき探検隊の責任者との情報交換(市域での出没情報把握など)実施>たぬき探検隊へのヒアリング：7月中旬実施

*東小金井北口まちづくりの進展で進む駅前植栽計画の把握：
東小金井駅北口まちづくり協議会の傍聴参加による「駅前植栽」「駅前広場」での植栽計画把握と課題検討>全2回傍聴

2)雨水活用：

*雨水貯留設備利用の民間(一般家庭、大型集合住宅など)での利用調査と保全管理提案づくり>計画案のみ作成。2021年度実施に向けて、参加可能な大型集合施設の管理組合などに交渉開始。

*雨水浸透設備調査：主に道路浸透柵調査(継続実施)と地域コミュニティとの連携した管理推進計画立案(行政への市民協働による支援提案を含む)>平成28年度以前(3年以上前)の設置工事エリアでのフィルター調査実施(2020年度以降)を設計中。

*下水処理、再生センター見学実施、武蔵野台地の水みち研究調査(第1期)>実施は、2020年秋以降に延期。

3)住環境づくり：

市内の環境配慮住宅変遷史の学習会実施と現状調査計画立案：市内住宅メーカーへのヒアリングと交渉開始：2019年度実施：タカキホーム(高木副社長)ヒアリング：10月実施

4) 市政点検：

各種行政会議(市議会、審議会)の傍聴環境づくり(第3期)とそのため求められる市の広報システム改善提案>部会公式サイトでの市議会傍聴環境づくりを継続実施。2019年度より、それまでの「一般質問」での実施に加え、「建設環境委員会」での傍聴を開始。3、6、9、11議会全部で実施。

5) 地域コミュニティづくり：

公園を核としたコミュニティづくり提案(モデル地区での実施)、町内会の基盤づくりを核とした地域広報環境づくり支援実験開始(数か所の町内会でモデル実施予定)>浴恩館公園でのボランティアや梶野公園でのボランティア実施ヒアリング(9月と10月末のイベント参加して、運営団体と情報交換)、栗山公園での推進は、荒木町会へのヒアリングと周辺地域住民ヒアリング実施>全2回(5月・12月)

〈新たに年度計画に加え、本年度開始したワークグループ活動〉

1) ごみ対策ワークグループ：9月に設置

昨年度より、市内のごみの現状についての情報収集で参加していた「HDMを進める会」の会議録と情報を部会サイト内で発信していくことを同会に承認してもらい、10月より広く、情報配信を強化。>継続中

2) 防災・減災ワークグループ：8~9月の台風や豪雨のタイミングで設置

*豪雨時にタイムリーに市の災害情報配信の調査や河川の氾濫情報を配信。同時に防災マップなどの情報の検討と地域安全課の提供する情報の収集と調査実施

*新型コロナウイルス感染拡大(2月)に同災害情報(厚生労働省・東京都・小金井市など)の配信調査調査と分析>部会サイトで報告実施中(2月~4月)>継続中

〈その他の活動〉

*消費者団体連合会との連携による「消費生活展」参加：

雨水市民の会や小金井市下水道課、周辺他市の環境関連団体との連携による展示実施>

例年通り実施>「雨つぶぐるぐるすごろく体験実施」や協力団体の雨水市民の会資料の配布を実施(10月・消費生活展会場にて)

*東久留米環境市民会議との連携>一昨年より、雨水活用ワーキンググループで地下水利用などの現状把握や道路浸透柵の設置調査などで交流を開始した同会議の報告会参加と資料受け(12月報告会参加内容は運営会で報告)

*玉川上水の史跡(小金井桜を含む周辺自然環境)保全管理や多摩川、野川や市内の用水跡や仙川などの環境保全に関する市民活動の情報収集と配信活動>東京都主催の玉川上水・区市連絡会への参加(12月19日)や小金井市「玉川上水・名勝小金井桜整備活用推進協議会」の傍聴を実施して、情報を収集(全2回)

■ エネルギー部会

〈実施した三つの取り組み〉

(1) 環境フォーラムに参加：フェスティバルコートで開催されたイベントで、太陽光パネルなどを展示した。環境楽習館でエネルギー部会、NPO法人「こがねい市民発電」の取り組みを紹介

介するパネルを展示した。

- (2) 市民の省エネ意識啓発：市民が自分で入力し、省エネの実績を体感できる「環境家計簿」の導入を小金井市環境政策課に対し引き続き要望した。
- (3) 新庁舎・新福祉会館プロジェクトでニュースレター発行：小金井市の新庁舎・新福祉会館の基本設計にあたり、小金井市環境市民会議は環境基本条例第27条に基づき、9項目の要望を西岡市長に対し「意見」として提出した。2019年9月時点での回答を担当課から説明を受けた。意見と回答の内容を「環境市民会議ニュースレター 2019年秋号」として作成した。

■はけの環境部会

〈主な活動報告〉

- 3月 ・都市計画道路3・4・11号線に関する意見交換会の続行を求める要望書を都建設局へ提出。都建設局と面談
- 8月 ・ムジナ坂の清掃
- 6月 ・都立武蔵野公園ユニバーサルデザイン改修工事の説明会に参加（主催：公園管理センター）
- 11月 ・武蔵野はらっぱ祭りに展示出店（2日間）。ニュースの配布、シール投票など行う
- ・小金井市長選および小金井市議補選 立候補予定者にアンケート実施、公表
 - ・市民がつくる自主講座 第1回「武蔵野デモクラシー」開催@公民館貫井北分館
- 12月 ・市民がつくる自主講座 第2回「古地図に見る武蔵野」開催@公民館貫井北分館
- 2月 ・都主催「小金井3411号線に関するオープンハウス説明会」に関するチラシ作成、配布。オープンハウス参加

ほか2ヶ月に一度程度、会議開催（4/9, 5/16, 6/19, 7/28, 10/29, 4/22）

〈各種審議会協議会報告〉

■小金井市緑地保全対策審議会報告

令和元年度第1回 小金井市緑地保全対策審議会会議録 令和元年8月27日（火）

- 1・新規委員紹介
- 2・環境緑地、公共緑地、保存樹木、保存生け垣の新規、解除報告
保存樹木、保存生け垣の規定を明確にする。
- 3・緑の基本計画
本年度より2年をかけて改定策定

令和2年度第2回 小金井市緑地保全対策審議会会議録 令和2年2月3日（月）

- 1・緑の基本計画
過去10年間の取り組みと現況報告
樹林、樹木及び農地の減少は止められない
宅地開発による小規模公園の増加
市民意識調査
緑に関する満足度は7割

残したい緑は野川、公園、玉川上水
イベント利用や周辺住民の参加で公園の質の向上を
グリーンインフラ、都市公園法の改定、特定生産緑地制度などによる新しい視点を。
環境基本計画、公園等整備基本方針を反映させる。

■小金井市消費者団体連絡協議会（消団連）

小金井市消費者団体連絡協議会参加団体

おもちゃの病院、医療生協、食器リサイクル、こがねい・パル、小金井市環境市民会議

- ・毎月 第二木曜日 代表委員会 2019年4月から2020年3月まで（全12回）
- ・毎月 第三木曜日 （8月はお休み） 食器リサイクル（リユースを目的として開催）、リサイクルバザー、おもちゃの病院
- ・2019年10月20日（日）なかよし市民まつり（小金井公園内）小金井市ごみ対策課主催フード・ドライブ見学
- ・2019年10月26日（土）消費生活展参加
- ・2019年10月27日（日）食器リサイクルフォーラム参加（多摩市エコにこセンター）
- ・2020年2月13日（木）消費者講座「備えあれば憂いなし」遺言と相続の話し
講師 藤井 隆之氏 主催消団連
- ・2020年3月14日（土）TAMA とことん討論参加予定（新型コロナウイルス感染予防対策のため中止）
- ・2020年3月19日（木）消費者ルームまつり （新型コロナウイルス感染予防対策のため中止）
- ・2020年3月22日（日）から23日（月）岐阜県多治見市陶磁器食器製造会社見学会参加予定（食器リサイクル全国ネットワーク主催、新型コロナウイルス感染予防対策のため中止）

以上（柏原記）

■第27回玉川上水の保全事業・区市連絡協議会

2019年12月19日（水曜） 14:00～16:30

小金井関連参加団体：小金井市環境市民会議、名勝小金井桜の会、小金井公園桜守の会、小金井市役所生涯学習課、環境政策課

議事進行：

1 開会

会議前に住民団体からあった連絡事項についての一覧(資料1)の説明で、それぞれについての回答は、以下の進行中にどの部分で回答していくかの説明がありました。以下の報告後に関連する質問、回答が提示される。(以下、小金井市に関連する部分のみ要約して記述)

2 都からの報告について(小金井市域の中流域の質疑も含め以下に要約を記述)

(1) <水道局からの報告>

水道局の管理計画と建設局の緑道管理<小金井に関連する上中流域について抜粋>

中流部の樹木処理作業については、主に高木の伐採。伐採は、18kmを9kmずつの半分に分けた区間、その他小金井サクラの区間の3本の工事を発注。事前に説明会を行った後、看板などで住

民に知らせ、現地で伐採、剪定を実施。工事案内は各住居に町会長を通して配布。樹木処理は、10月ごろから開始。

上水の法面保護工事の今年度予定範囲は、三鷹市が中心となる。維持管理作業については、通年4月1日から3月31日まで実施。主に低木の伐採、樹木剪定、草刈り、水路清掃など。

(2) <質問と回答：名勝小金井桜の会の事前提示された今後の小金井桜保全管理のために苗木の準備が必要になる点の対処方針への質問の回答> (小金井桜の保全管理担当の教育庁から)

*苗木の用意は、保全活用計画も含めて、小金井市の役割分担。

*その中で、今回サクラの苗圃として、都立公園を活用できないかということで意見をもらったが、所管部署に確認したところ、東京都の公有財産である都立公園の中でこうした形の取り扱いをするのが規則上難しいという回答を得た。

*一方、捕植については、教育庁も管理団体としての立場があるので、苗圃の確保は、地元市、都の関係局等、また関係者の皆様方とも協力しながら取り組みをすすめていきたいので協力を願いたい。

<会場での名勝小金井桜の会より、上記の回答への再質問>

*苗圃の確保は、地元のお願いですという消極的な話だと理解した。現状の系譜のただしい小金井桜の苗木づくりは、東京都の設定した基準に沿って苗木づくりをして最低でも6年を必要とする。現状、小金井市域での苗木提供はおわり、今後、史跡保全として、必要となる小平市、西東京市、武蔵野市域での捕植に小金井市の苗圃で育った苗木を提供するということになるとの理解だろうか。他市の捕植分を小金井市が提供する可能性について、他市との調整、計画推進の現状、計画などの回答をもらいたい。

<教育庁の上記再質問への回答：要約>

*4市の皆様方や都の関係機関と引き続き協力しながら取り組みたい。

<小金井市の同回答：要約>

*現段階では他市への苗木提供については回答できない。

*今後は、他市の考えも伺いながら、丁寧にすすめていきたい。

3 その他の各団体の2019年度の活動紹介：